

平成21年度 健全化判断比率及び資金不足比率の公表について

公表する内容

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が公布され、毎年度「健全化判断比率」及び「資金不足比率」を算定し、監査委員の審査を受け、その意見をつけて議会に報告するとともに、これらの比率を公表することが平成19年度決算より義務となりました。

公表する比率は、「健全化判断比率」の「1.実質赤字比率」、「2.連結実質赤字比率」、「3.実質公債費比率」、「4.将来負担比率」の4つの指標と「5.資金不足比率」です。

津別町の健全化判断比率と資金不足比率

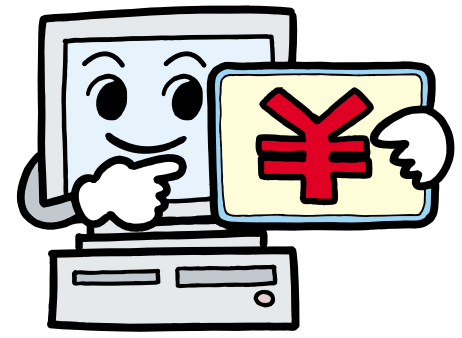
平成21年度決算に基づき算定した健全化判断比率と資金不足比率は下表のとおりで、すべて基準を下回りました。

区分	実質赤字比率	連結実質赤字比率	実質公債費比率	将来負担比率
津別町	—	—	14.0	—
早期健全化基準	15.00	20.00	25.0	350.0
財政再生基準	20.00	30.00	35.0	

※算定結果が黒字になるため、「—」と表示されています。

区分	上水道事業会計	簡易水道事業特別会計	下水道事業特別会計
津別町	—	—	—
経営健全化基準	20.00	20.00	20.00

※算定結果が黒字になるため、「—」と表示されています。



健全化判断比率の4指標と資金不足比率が表しているもの

1. 実質赤字比率 町の一般会計の赤字の程度を指標化したもの。
2. 連結実質赤字比率 町の全ての会計の黒字や赤字を合計して、町全体の会計の赤字の程度を指標化したもの。
3. 実質公債費比率 町その年の借金返済額もしくは借主に準ずるものの支払額を合計して、一般会計の負担の程度を指標化したもの。
4. 将来負担比率 一般会計の借金残高や特別会計等の借入金残高に対する今後の一般会計の負担見込額などを合計して、将来負担する可能性のある額の大きさを指標化したもの。
5. 資金不足比率 公営企業（上水道事業等）の資金不足を、料金収入の規模と比較して指標化したもの。

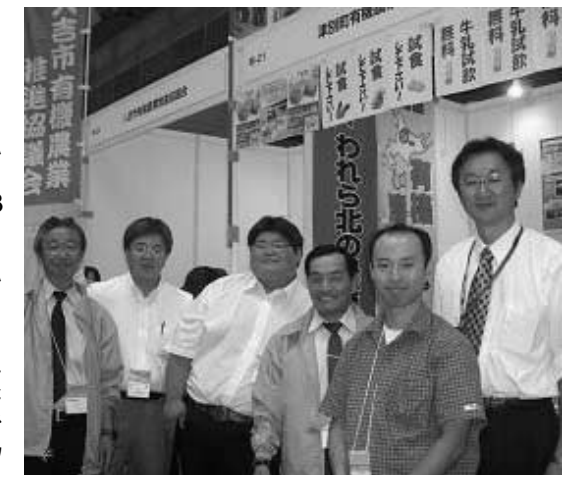
津別町の平成21年度決算における健全化判断比率および資金不足比率は、いずれも基準を下回っています。しかし、依然として財政状況は厳しく、町としてもより一層の健全化に向けた財政運営を行っていくこととしています。

問い合わせ先
役場 企画財政課企画財政グループ ☎76-2151 内線239



まちづくりのために
まちづくり懇談会が行われました
平成19年から開催され、今年で4回目となるまちづくり懇談会が、10月5日の東岡自治会を最初に11月5日まで、佐藤多一町長と役場の地域担当連絡員が出席し、町内19ヶ所で開催されています。
今年の意見交換のテーマは、
今の町のふところ具合
大通りに建設中のまちづくりセンター
ランプの宿「森つべつ」の運営状況
必要なサービスと不必要なサービス
の4点で、地域住民の率直な意見交換が行われています。
今後のまちづくりを進めていくための参考となりますので、多くの方の参加をお願いいたします。

9月21日から23日にかけて、東京ビッグサイトで開催された国内最大規模の展示会である第10回「オーガニックEXPO」に約2万人の方が訪れ、津別町有機農業推進協議会（山田照夫会長）は玉ねぎや馬鈴しょ等の有機生産物の出展を行いました。
今回の出展にあたり、製造加工業者からオーガニック牛乳約450本が提供され、入場者からは津別産の玉ねぎ、カボチャ、ばれいしょ等の取扱を希望する業者約10社から商談申込を受け、山田会長は「津別町の農産物、特に北海道の農産物に対する需要の大きさに驚きました。今後は流通関係のコストに関する課題はありますが、農業の新しい可能性を開拓していきたいです」と話されました。



有機農業の拡大を目的に
オーガニックEXPOに出展！

10月5日、消防団員数が減少している中、地域への消防団活動を行なうことに対しての協力や、消防団員を2名以上雇用しているなどの基準により、地域の社会貢献を果たしていることを評価し、「消防団協力事業所表示制度」により、丸玉産業(株)津別工場が町内では認定第2号として、佐藤多一町長（美幌・津別広域事務組合副管理者）から成田昇津別工場長へ「表示証」が交付されました。
今後も消防団と事業所の連携、協力体制の一層の強化、消防、防災体制の充実強化などの推進が図られます。



子育て講演会が開催
愛する、生きる事を考える



消防団協力事業所
丸玉産業(株)に「表示証」が交付
9月22日、林業研修会館で助産師の山本文子さん（NPO法人いのちの応援舎代表）による「いのちのお話」と題した講演会が行われ、51人の参加がありました。
1年に150回以上の講演をしている山本さんは助産院やデイサービス、病後児保育などの複合施設「いのちの応援舎」を開設し、赤ちゃんから老後まで集まれる施設を運営しています。
講演では、印象深い服装や話し方で参加者を圧倒し、「かけがえのない命が誕生した時の喜びを感じてください」「愛する、生きることを深く考え、今を大切に生きてください」と話され、参加者の中には涙する人もいました。